

松風館十勝碑林のご案内

所在地 福山市神辺町西中条2061

松風館十勝碑林は、平成18年(2006)2月、菅茶山顕彰会と地元有志により、山田谷の松風館跡に建立されました。福山市との合併(同年3月)を目前にした、神辺町時代の顕彰活動を記念するモニュメントでもあります。近くには、茶山・君推ゆかりの「象山献燈」や河相君推の眠る「河相家墓地」があります。

主な石碑

- 主碑 ①「松風館十勝」建立 菅茶山顕彰会 ②「松風館跡」建立 神辺町町長 (背面「河相君推と松風館」)
- 十勝碑 十勝名を記した10基の石碑
- 詩碑 ①「松風館即事」菅茶山 ②「所見(落日残紅)」菅茶山 ③「河相保之松風館同菅禮卿賦」頼春水

松風館十勝碑林

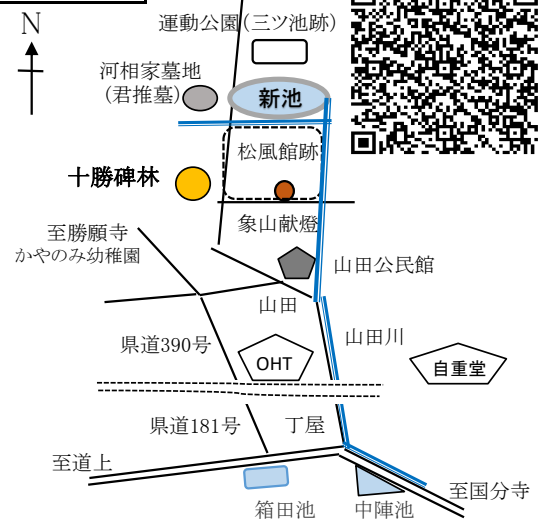


「松風館十勝」とは

江戸時代後期、ここ山田谷に土居河相家六代目河相君推(名は保之)という農業と酒造業を生業とする大庄屋が住んでいました。山田川に隣接する広大な地所に、母屋、酒造場、客殿(別荘)「松風館」などを建て傍らに池亭、要所に遊歩道と橋でめぐる池、藤棚、奇岩などを配し、各々に、菅茶山ら著名な文人に命名・墨書を求め、石柱・木柱などに刻み道案内とし、「松風館十勝」と総称しました。

君推は多くの書画類を蒐集、和歌を詠むなどの風流人で、遠縁にあたる茶山と同伴の客人たちを心底からもてなし詩画会などを開き、地元中条などの僧侶や文人仲間との交流を勧め、後世「文人サロン中条」と讃えられる足跡を残しました。

付近略図



松風館十勝碑林の主碑



主碑背面「河相君推と松風館」

